

中部品質管理協会主催 「IoT時代の品質保証研究会」のご案内

1. 研究会立ち上げの主旨

IoT時代の品質保証を近未来的な視点で議論し、そのために現在やるべき活動、習得すべき知識と技術を踏まえ、人材の育成含め組織の在り方、仕組みづくりについて、シリーズで学ぶ場を設ける。

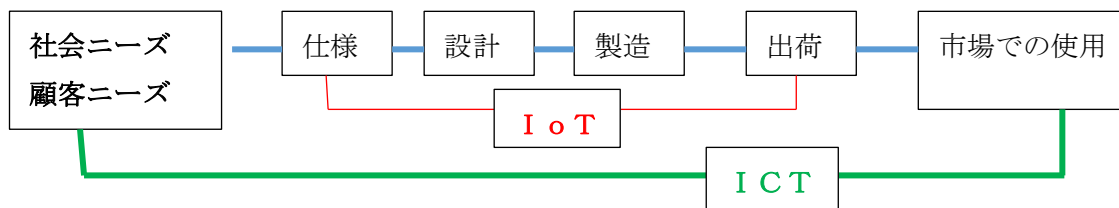
<目的>

- 1) 世界的に起こっている「超工場」の変革を切り開く人材の育成
- 2) そのために必要な知識、情報の共有
- 3) 知識を自社の実装につなげるための場とネットワークの構築

2. 取組対象領域

☆狭義の対象（IoT）では：モノづくり現場でIT活用により更なるデータの見える化が進む
＝更に高度な効率化や現場改善へ

☆広義の対象（ICT）では：市場での使用データから今までわからなかった情報、ニーズがわかる
＝新たな価値（サービス・機能）の創出へ



* 取組対象領域から、以下、いずれかの分科会に所属いただき、活動を行います。

分科会1:モノづくりのプロセス視点で、IoT、AI、ビックデータを軸に変わってゆく際の「品質を担保しつつ、いかに生産性を向上させるか」について研究(上図IoTにあたります)

分科会2:製品視点で、IoTにより製品が変わる場合の品質リスクと、それにどう対処するかを研究。従来の“壊れない”という「当たり前品質」から、“高付加価値・商品創出”等「魅力品質」まで。(上図ICTにあたります)

<取組テーマ例>

- ①IoT時代の品質保証のためには、どういったデータを、どうやって得られるようにすればよいか。活用方法等検討。
- ②IoT,つまり、つながる工場、サイバー空間で生産工程が再現され企業の枠を超えてつながる場合には、品質保証をどのように考え、どういった手法や仕組みが必要とされるのかを考える。
- ③ICTにおける新しい品質保証のための組織、仕組み、人材や必要なスキル・知識・技術について考える。

3. 研究会開催計画

<期間：2017年4月～2020年3月（3年間）>

第1期： 2017年4月～2018年3月

IoT化の動向と課題について、2グループにわかれ、講話や先行事例から学ぶ

第2期： 2018年4月～2019年3月

前年に引き続き、分科会1と分科会2に分かれ、取り組むテーマの実装

第3期： 2019年4月～2020年3月

取り組むテーマの実装まとめと発表

【2017 年度スケジュール(案)】

開催回	開催月	企 画 内 容	
1	4月12日 午前	開講記念講演：ベッコフジャパン(株)川野社長 「Industries 4. 0 最前線と日本の製造業への提言」(仮) 他、講演1～2件 (IoT 実施事例) 川野氏&講演者パネルディスカッション 「IoT 時代の品質保証～想定されることは」	
	4月12日 午後	研究会参加者間でのディスカッション&グループ分け <分科会1 ・ 分科会2>	
2	5月 ① 5/22 ②5/29	グループ①第1回見学会<5/22> 旭鉄工(株)(Smart Technologies)	グループ②学習会 Part 1 <5/29> 「10年先予測①」情報収集&GD
3	6月 午後	講演とディスカッション：(株)デンソー (案) 「(株)デンソーにおける IoT の取り組み」	
4	7月 午後 ① 調整中 ②7/5	グループ①第2回見学会 調整中 KOMATSU IoT センター (仮)	グループ②学習会 Part2 <7/5> 「10年先予測②」情報収集&GD
5	8月 午後	講演とディスカッション：(株)IBM ワトソン品質保証担当責任者 (案) 「IBM ワトソンにおける品質保証の考え方」	
6	9月 午後 ① 調整中 ②9/5	グループ①第3回見学会 調整中	グループ②学習会 Part 3 <9/5> 「品質保証に於ける」の洗い出し①」
7	10月3日 午後	参加メンバー間によるディスカッション 「上半期の振り返りと下半期の計画修正・検討」	
8	11月 午後	講演：調整中 「Connected Car 時代の品質保証を考える」	
9	12月 午後 ①検討中 ②12/1	グループ①第4回見学会 検討中	グループ②学習会 Part 4 <12/1> 「品質保証におけるリスクの洗い出し②」
10	2018年2月 午後	講演とディスカッション:検討中	
11	2018年1月午後 ①検討中 ②2/9	第5回見学会 検討中	グループ②学習会 Part 5 「今後の取り組み題材検討」
12	18年3月15日午後	参加者ディスカッション&総括	

4. 参加費・参加要領

①中部品質管理協会会員 1名 12万円(税別)/年 ②一般(協会会員外) 1名 13万8,000円(税別)/年

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人 中部品質管理協会企画部次長 細見純子 / 研修事業部 神谷

TEL:052-581-9841

E-mail:jun.hosomi@cjqa.com

平成29年度「IoT時代の品質保証研究会」申込書

<申込責任者用記入欄>

会社名				所属役職		
郵便番号	〒	所在地				
フリガナ		TEL		FAX		
氏名		E-mail				

<参加者用記入欄>

※	氏名	フリガナ	所属	役職
会費	税込単価 (税別単価+消費税)	* 参加者数	= 合計	振込み予定日
	会員 129,600円 (120,000+9,600)	*	=	年 月 日
	一般 149,040円 (138,000+11,040)	名	円	
振込先	三菱東京 UFJ 銀行 名古屋駅前支店 普通預金 No.0295709 口座名：一般社団法人 中部品質管理協会			

* 請求書の発行は開催初日2週間前に送付させていただきます。振込手数料は貴社で負担ください。

* 銀行振込でのご送金は、振込受領証をもって領収証に代えておりますのでご了承ください。

<当協会用記入欄>

事業CD	1 ICT (515513)			
会社CD		責任者CD		